



2025 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社トランスジェニックグループ
代表者名 代表取締役社長 福 永 健 司
(コード番号 2342 東証グロース)
問合せ先 取締役 経理財務部長 渡 部 一 夫
(電 話 番 号 092-288-8470)

特別損失等の計上による通期連結業績予想の修正及び 個別業績の前期実績との差異に関するお知らせ

当社は、2025 年 3 月期連結決算において下記のとおり特別損失等を計上することといたしましたのでお知らせいたします。また、直近の業績動向を踏まえ、2024 年 11 月 12 日に公表しました 2025 年 3 月期の通期連結業績予想（以下、「前回発表予想」）について、下記のとおり修正することといたしました。なお、2024 年 3 月期以前の過年度の決算につきまして、訂正は生じておりません。

また、個別業績につきましても前事業年度の実績値と比較して差異が生じたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失等の計上について

①固定資産の減損損失について

主として、子会社である株式会社トランスジェニック（以下、「トランスジェニック」といいます。）の一部設備について、当初想定していた収益が見込めなくなったことから、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき固定資産の減損処理を行い、減損損失 228 百万円を特別損失として計上いたしました。

②のれん償却額について

「連結財務諸表における資本連結手続に関する実務指針」（日本公認会計士協会 会計制度委員会報告第 7 号 2022 年 10 月 28 日）第 32 項の規定に基づき、子会社である株式会社 M A S C ののれんを償却したことにより、のれん償却額 51 百万円を特別損失として計上いたしました。

③損失補償金について

2025 年 5 月 12 日付「2025 年 3 月期決算発表の延期に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、トランスジェニック磐田研究所において、一部の職員による受託試験の試験データに係る不正が判明したため、監査法人との協議を行いながら外部の専門家(弁護士)による調査及び検証作業を行ってまいりました。当該「お知らせ」では、不正のあった試験に関して『対象となった試験に係る契約金額は全体で約 2 億円弱程度であり、内、問題となっている分析に係る契約金額はその 4 分の 1 程度となっております。』と記載しておりましたが、調査及び検証を行った結果、現時点における本件不正による損失の見積額について、特段不合理な点はないとの評価を受けております。このため、今回の調査・検証結果を踏まえ、補償及び再試験費用等の今後の発生見積額 38 百万円を特別損失として計上することといたしました。なお、本件不正の概要及び再発防止策につきましては、2025 年 6 月 20 日の開示を予定しております。

④繰延税金資産の取り崩しについて

2025 年 3 月期及び今後の業績動向等を勘案し、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を取り崩して税金費用として法人税等調整額 359 百万円を計上いたしました。

2. 通期連結業績予想の修正について

2025 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	百万円 12,500	百万円 △110	百万円 △180	百万円 △210	円 銭 △12.61
今回修正予想（B）	13,005	△259	△319	△1,089	△65.51
増 減 額（B－A）	505	△149	△139	△879	
増 減 率（％）	4.0	－	－	－	
（参考）前期実績 （2024 年 3 月期）	13,083	89	108	4	0.24

修正の理由

（売上高及び営業利益）

創薬支援事業につきましては、トランスジェニックにおいて、中期発がん性試験などの高付加価値な新規サービスの受注は増加いたしました但来期完了予定の試験が想定より多く、また、当期完了予定であった試験の一部が来期の完了予定となりました。さらに、子会社株式会社安評センターとの合併による経営統合を行い事業運営の見直しを行ってまいりましたが、事業運営の合理化に見込まれる費用 60 百万円を受注損失引当金として計上いたしました。このため、当期の売上高は前回発表予想を 103 百万円下回る 1,896 百万円となる見込みとなり、営業利益も前回発表予想を 208 百万円下回る 488 百万円の損失となる見込みとなりました。

投資・コンサルティング事業につきましては、輸入販売やEコマースを営む業態の子会社は、新規先の開拓や価格転嫁が奏功したため、当期の売上高は概ね前回発表予想を 615 百万円上回る 11,115 百万円となり、営業利益も前回発表予想を 68 百万円上回る 438 百万円となる見込みとなりました。

（※）各セグメントに配分されない費用等の調整額を含まないセグメント利益であります。

以上の結果、連結売上高は前回発表予想を 505 百万円上回る 13,005 百万円となる見込みとなりましたが、連結営業利益につきましては前回発表予想を 149 百万円下回る△259 百万円となる見込みとなりました。

（経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益）

連結経常利益につきましては、上記の影響により前回発表予想を 139 百万円下回る△319 百万円となる見込みとなりました。

また、上記の特別損失及び税金費用を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想を 879 百万円下回る△1,089 百万円となる見込みとなりました。

3. 通期個別業績の前期実績との差異について

2025 年 3 月期通期個別業績の前期実績との差異（2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
前 期 実 績 （ A ）	百万円 371	百万円 73	百万円 86	百万円 △662	円 銭 △39.41
実 績 値 （ B ）	287	△19	△36	△1,153	△69.35
増 減 額 （ B － A ）	△84	△92	△123	△491	
増 減 率 （ % ）	△22.7	－	－	－	

差異の理由

当事業年度は、子会社からの配当収入等の営業収入（売上高）が前期比で減少し、営業利益及び経常利益につきましても同様に減少いたしました。また、当期純利益につきましては、前事業年度は関係会社株式評価損を特別損失として 737 百万円計上いたしましたでしたが、当事業年度は関係会社株式評価損を 91 百万円計上したほか、本日公表いたしました「連結子会社に対する債権放棄に関するお知らせ」のとおり、子会社であるトランスジェニックに対して貸付金の一部である 1,000 百万円の債権放棄を決議したため、同額の貸倒引当金繰入額を特別損失として計上いたしました。これらにより、前事業年度の実績値との間に差異が生じております。

以上